

記入上の注意

統計法による
指定統計第1号

国勢調査調査票

昭和45年10月1日

総理府統計局

国勢調査についてのお願い

この10月1日には、全国いっせいに、国勢調査が行なわれます。

国勢調査は、わが国の人口の実態をしらべて政治や行政の基礎資料をつくるために、大正9年以来5年ごとに
行なわれてきた国のもっとも基本的な統計調査であります。

この調査では、みなさまの世帯にふだん住んでおられるすべてのかたについて、もれなく申告していただくこ
とになっています。

調査員が近日中にこの調査票を集めに伺いますから、それまでに記入しておいてください。

なお、この調査票に書かれたことがらは、統計をつくるためにだけ使われるもので、その他の目的に使うこと
は、決してありませんから、ありのままを、ご記入くださるようお願いいたします。

記入する前にお読みください

■ 調査票には、あなたの世帯にふだん住んでいる人をもれなく記入してください。

ふだん住んでいる人というのは、10月1日現在、あなたの世帯にすでに3ヵ月以上住んでいるか、または3ヵ月以上になたって住むことになっている人です。

つぎの人たちは、それぞれ、つぎに述べる場所で申告することになっていますから注意してください。

● 旅行や出かけなどで一時的に不在の人は、不在期間が3ヵ月以上にわたらないときは自宅で申告し、3ヵ月以上にわたるときは、旅行先や出かけ先で申告します。

● 寄宿舍・下宿などから通学している学生・生徒は、自宅ではなく、その寄宿舍・下宿などで申告します。

● 病院・療養所などの入院患者のうち、入院してから3ヵ月にならない人は自宅で申告し、すでに3ヵ月以上入院している人は入院先で申告します。

● 船に乗り組んでいる人は、自宅で申告します。

● 自衛隊の営舎内または艦船内の居住者は、自宅ではなく、その営舎または艦船で申告します。

● 刑務所・拘留所の収容者のうち刑のきまっている人と少年院・婦人補導院の収容者は、全部その収容先で申告します。

● 3ヵ月以上にわたって住んでいるところまたは住もうと思っているところがない人は、現在いる場所で申告します。

■ 調査票は、世帯ごとに記入することになっています。つぎのような人については、とくに注意してください。

下宿または間借りしている人

● 単身で下宿または間借りしている人は、各人ごとに別の世帯とし、それぞれ1枚の調査票に記入します。

● 家族といっしょに間借りまたは下宿していれば、その家族ごとに一つの世帯として調査票に記入します。

住込みの使用人

● 雇主の世帯に同居している住込みの使用人は、雇主の世帯の調査票に記入します。

寄宿舍・独身寮に住んでいる人

● 会社・学校などの寄宿舍・独身寮に住んでいる寄宿人・寮生は、まとめて調査票に記入します。

■ 調査票に記入するときは、別にお配りした記入例を参考にしてください。

10月 日 ころ調査員がこの調査票を集めに伺いますから、それまでに記入しておいてください。
わからない点がありましたら、調査員または市(区)役所・町村役場におたずねください。

1 氏名
● 昭和45年10月1日午前零時までに生まれて、まだ名のついていない乳児は、「名づけず」と書いてください。

8 いままでに生んだ子供の数
● 死産児は含めません。

9 現住居に入居した時期
● 現在の家が建てかえたものである場合は、建てかえ以前の家に住みはじめた時期を記入してください。
● 現在の家に住みはじめてから途中で3ヵ月以上にわたる長期の不在期間がある場合は、不在後家に帰ってきた時期を記入します。

10 前住地
● 沖縄は、都道府県と同じに扱います。

11 教育
● 高等学校・短期大学・大学については、これらの学校の卒業資格が得られる通信教育による課程も含めます。
● 職員・社員の研修所・訓練所などの研修生または修了者は、その前に卒業した学校について記入してください。
● 外国の学校については、下の表に準じて記入してください。

12 仕事をしたかどうかの別
● 仕事とは、収入(賃金・給料・営業収益など)をともなう仕事をいいます。家族の人が自家営業(農業や店の仕事など)に従事した場合は、無給であっても、仕事をしたことになります。また、内職や臨時にした仕事でも、ここという仕事に含まれます。
4 仕事を休んでいた……勤め人や事業を営んでいる人が、病気や休暇などで仕事を休みはじめてから30日にならない場合、または勤め人が、30日以上休んでも賃金や給料をもらうことになっている場合をいいます。
5 仕事を探していた……仕事がなく、公共職業安定所に申し込むなどして積極的に仕事を探していた場合をいいます。

13 従業地または通学地
● つぎのような人は、それぞれ、つぎに示した場所を従業地としてください。
△ 自家の田畑・山林や漁船で仕事をしている農家や漁家の人は……自宅
△ 自営の大工や行商人などは……自宅
△ 外務員・運転手などのように、雇われて戸外で仕事をしている人は……所属している事業所のある市区町村
△ 船の乗組員は……おもな根拠地のある市区町村

4 従業地・通学地までの利用交通手段
● 利用する交通手段が日によってちがう場合は、おもに利用する交通手段について記入してください。
5 自家用車……勤め先の乗用車を利用する場合も含めます。
7 タクシーその他……勤め先が雇い上げたハイヤーを利用する場合や船を利用する場合も含めます。

15 従業上の地位
1 雇用されている人……つぎのような人をいいます。
会社員・工員・公務員・団体職員・個人商店の使用人・家事使用人・日雇い・臨時雇いなど
3 雇人のある業主 4 雇人のない業主……つぎのような人で、営業使用人を雇っていれば「雇人のある業主」とし、営業使用人を雇っていなければ「雇人のない業主」とします。
個人経営の商店主・工場主・農業主・開業医・弁護士・著述家・家政婦・行商人など

16 勤め先・業主などの事業の種類
● 勤め先が本社・本店とは別のところにある工場・支店などで仕事をしている人は、その工場・支店などの名称と事業の内容を書いてください。
● 二つ以上の事務所・工場・店などで仕事をしている人は、おもに仕事をしているところの名称と事業の内容を一つだけ書いてください。
● 同じ店などで2種以上のちがった事業を営んでいる場合(たとえば洋菓子小売と喫茶の事業を営んでいる場合)は、そのうちおもな事業を一つだけ書いてください。
● 日雇いで仕事をしている人は、公共職業安定所をとおして仕事をした場合でも、実際に雇われている事業所(現場事務所など)の名称と事業の内容を書いてください。

17 本人の仕事の種類
● 二つ以上の種類のちがう仕事をしている人は、おもな仕事を一つだけ書いてください。
● 製造や修理などの技能的な仕事と販売の仕事の両方をしている人は、技能的な仕事のほうを書いてください。
(例) 時計の修理も販売もしている人は……時計の修理 薬の調剤も販売もしている薬剤師は……薬剤師
● 経営者で経営管理以外の仕事にも直接従事している人は、その直接従事している仕事を書いてください。
(例) 食堂の経営者で調理もしている人は……料理人 外科病院の院長などで診療もしている人は……外科医師

(1) 住居の種類
1 持ち家……登記がまだすんでいない場合や、分割払いの分譲住宅などで支払いの完了していない場合も含めます。
2 公営・公団・会社の賃貸住宅・アパート……都道府県・市町村営住宅や日本住宅公団・住宅供給公社・住宅協会などの賃貸住宅で、給与住宅でない場合をいいます。
4 給与住宅……会社または雇主が借りている一般の住宅に、従業員が住んでいる場合も含めます。
5 住宅に間借り……他の世帯が住んでいる住宅(持ち家・借家・給与住宅)の一部を借りて住んでいる場合をいいます。ただし、その借りている部分がつぎの(1)～(3)のすべてにあてはまる場合は、「住宅に間借り」とはせず、「借家・民営の賃貸アパート」としてください。
(1) 他の世帯の住居と完全に仕切られていること
(2) その住居の出入口までは、共用の廊下などを通して、だれでも自由に出はいることができること
(3) 流しや便所があること(共用でも他の世帯の住居を通らずに、いつでも使える場合を含む。)

(2) 居住室数
● 居住室とは、居間・茶の間・寝室・客間・書斎・応接間・食事室・ダイニング キッチン(食堂兼台所)など居住用の室をいいます。玄関・台所(炊事場)・便所・浴室・廊下や店・事務室など営業用に使っている室は、居住室ではありません。

(3) 居住室の量数の合計
● 洋間などのように量のしていない居住室の量数は、3.3平方メートル(1坪)を2畳の割合で計算して、量数に含めてください。
● ダイニング キッチンの量数は、流しや調理台の部分を除いて計算してください。

(4) 家計の収入の種類
1 家業収入……個人経営の事業から得る収入で、自営の医師・弁護士や文筆家などの収入も含めます。
2 賃金給料……会社・官公庁・個人商店などに雇われている人が、勤め先から得る収入で、賞与・手当・チップなども含めます。

○ 記入面の「11 教育」欄でいうおもな学校の種類

小学 高小	小学校 国民学校初等科 尋常小学校 盲学校・ろう学校・養護学校の小学部または初等部 国民学校高等科 高等小学校 通信講習所普通科	短大・高専
新中	中学校 盲学校・ろう学校・養護学校の中学部	
旧青年学校	青年学校普通科・本科 実業補習学校 陸海軍工員養成所	
新高・旧中	新制の高等学校 保母養成所 准看護婦養成所 旧制の中学校・高等女学校・実業学校およびそれらの補習科・専攻科 師範学校予科または一部3年修了のもの 鉄道教習所中等部・普通部(昭和24年までの卒業生) 通信講習所高等科 陸軍幼年学校 海軍甲種予科練 旧看護婦学校 専検・実検合格者	大学
		短期大学 工業高等専門学校 商船高等専門学校 都道府県立農業講習所 } (新高卒を入学資格とする) 看護婦養成所 保母養成所 } (修業年限2年以上のもの) 旧制の高等学校・大学予科・専門学校・高等師範学校 師範学校本科 高等通信講習所本科 陸軍士官学校 海軍兵学校 水産講習所(昭和27年までの卒業生)
		大学 大学院 防衛大学校 海上保安大学校本科 航空大学校 水産大学校 国立工業教員養成所

あなたの世帯の各人について記入してください

記入について
○ 数字をつけて答えを示してある欄では、あてはまる数字を記入してください。
○ 青か黒のインキまたはボールペンで記入してください。
○ 第2面の説明を読んで記入してください。

1 氏名	あなたの世帯にふだん住んでいる人の氏名を書いてください 記入する人の範囲については 第1面の説明を読んでください	行番号	1	2	3	4	5	6
2 世帯主との続柄	世帯主 妻 長男 長男の妻 長男の長女 母 第 家事使用人 営業使用人 などと書いてください (寄宿舍・寮などでは 代表者 寄宿人 寮生など)		1	2	1	2	1	2
3 男女の別			1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女
4 出生の年月			年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
5 国籍	外国の場合は2をまるで囲み その国名を書いてください		1 日本 2 外国	1 日本 2 外国	1 日本 2 外国	1 日本 2 外国	1 日本 2 外国	1 日本 2 外国
6 配偶の関係	届け出の有無に関係なく記入してください まだ結婚したことのない人は………1 現在 妻または夫のある人は………2 妻または夫と死別して 現在独身でいる人は………3 離婚して 現在独身でいる人は………4		1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離婚	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離婚	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離婚	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離婚	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離婚	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離婚
7 結婚年数	結婚していた期間を書いてください 1年未満の端数は切り捨てます 再婚の女子は いままでの結婚期間を通算してください		年	年	年	年	年	年
8 いままでに生んだ子供の数	同居していない子供や出生後に死んだ子供も含め再婚の女子は いままでに生んだすべての子供の数を記入してください		人	人	人	人	人	人
9 現住居に入居した時期	生まれたときから引き続き現在の家に住んでいる人は 1をまるで囲んでください		1 出生時から 2 昭和34年以前 3 昭和35～39年 4 昭和40年1月～44年9月 5 昭和44年10月以後	1 出生時から 2 昭和34年以前 3 昭和35～39年 4 昭和40年1月～44年9月 5 昭和44年10月以後	1 出生時から 2 昭和34年以前 3 昭和35～39年 4 昭和40年1月～44年9月 5 昭和44年10月以後	1 出生時から 2 昭和34年以前 3 昭和35～39年 4 昭和40年1月～44年9月 5 昭和44年10月以後	1 出生時から 2 昭和34年以前 3 昭和35～39年 4 昭和40年1月～44年9月 5 昭和44年10月以後	1 出生時から 2 昭和34年以前 3 昭和35～39年 4 昭和40年1月～44年9月 5 昭和44年10月以後
10 前住地	前に住んでいたところが 現在と同じ市町村(7大都市の場合は同じ区)の場合は…1 同じ市(7大都市)の他の区の場合は…2 同じ都道府県内の他の市町村の場合は…3 他の都道府県の場合は…4 外国の場合は…5 ア欄で2・3・4のいずれかをまるで囲んだ人は イ欄に前に住んでいたところの都道府県市区町村名を書いてください 前に住んでいたところが7大都市(東京都の区部・横浜市・名古屋市・京都市・大阪市・神戸市・北九州市)の場合は 区名まで書いてください		1 同市区町村 2 他市区町村 3 他市町村 4 他都道府県 5 外国	1 同市区町村 2 他市区町村 3 他市町村 4 他都道府県 5 外国	1 同市区町村 2 他市区町村 3 他市町村 4 他都道府県 5 外国	1 同市区町村 2 他市区町村 3 他市町村 4 他都道府県 5 外国	1 同市区町村 2 他市区町村 3 他市町村 4 他都道府県 5 外国	1 同市区町村 2 他市区町村 3 他市町村 4 他都道府県 5 外国
11 教育	現在 在学中の人は………1 卒業した人は………2 (予備校・洋裁学校などは ここ)でいう学校には含めません 在学中の人はその在学している学校 卒業の人は最終卒業学校(中途退学した人はその前の卒業学校)について記入してください 未就学の人のうち幼稚園に通っている幼児は7 乳児その他の人は8をまるで囲んでください 学校の種類については 第2面にある一覧表を参照してください		1 在学中 2 卒業 3 未就学	1 在学中 2 卒業 3 未就学	1 在学中 2 卒業 3 未就学	1 在学中 2 卒業 3 未就学	1 在学中 2 卒業 3 未就学	1 在学中 2 卒業 3 未就学
12 仕事をしたかどうかの別	9月24日から30日までの1週間に おもに仕事をした人は………1 家事などのほか 少しでも仕事をした人は………2 通学のかたわら 少しでも仕事をした人は………3 仕事を少しもしなかった人は………4から8までのうち一つ 仕事とは 収入をともなう仕事をいい、自家営業(農業や店の仕事など)の手伝いや内職・アルバイトも含めます 3と7の通学には 予備校・洋裁学校などの各種学校に通っている場合も含めます		1 おもに仕事 2 家事などのほか仕事 3 通学のかたわら仕事 4 仕事を休んでいた 5 その他(高齢者など) 6 通学 7 13～17欄に記入 8 乳児その他	1 おもに仕事 2 家事などのほか仕事 3 通学のかたわら仕事 4 仕事を休んでいた 5 その他(高齢者など) 6 通学 7 13～17欄に記入 8 乳児その他	1 おもに仕事 2 家事などのほか仕事 3 通学のかたわら仕事 4 仕事を休んでいた 5 その他(高齢者など) 6 通学 7 13～17欄に記入 8 乳児その他	1 おもに仕事 2 家事などのほか仕事 3 通学のかたわら仕事 4 仕事を休んでいた 5 その他(高齢者など) 6 通学 7 13～17欄に記入 8 乳児その他	1 おもに仕事 2 家事などのほか仕事 3 通学のかたわら仕事 4 仕事を休んでいた 5 その他(高齢者など) 6 通学 7 13～17欄に記入 8 乳児その他	1 おもに仕事 2 家事などのほか仕事 3 通学のかたわら仕事 4 仕事を休んでいた 5 その他(高齢者など) 6 通学 7 13～17欄に記入 8 乳児その他
13 従業地または通学地	現住居で仕事をしている人は………1 住んでいる市町村(7大都市の場合は同じ区)にある人は………2 住んでいる市(7大都市)の他の区にある人は………3 同じ都道府県内の他の市町村にある人は………4 他の都道府県にある人は………5 ア欄で3・4・5のいずれかをまるで囲んだ人は イ欄に従業先・通学先の都道府県市区町村名を書いてください 従業先・通学先が7大都市の場合は 区名まで書いてください 仕事も通学もしている人は 仕事をしている場所を書いてください		1 自宅 2 同市区町村 3 他市区町村 4 他市町村 5 他都道府県	1 自宅 2 同市区町村 3 他市区町村 4 他市町村 5 他都道府県	1 自宅 2 同市区町村 3 他市区町村 4 他市町村 5 他都道府県	1 自宅 2 同市区町村 3 他市区町村 4 他市町村 5 他都道府県	1 自宅 2 同市区町村 3 他市区町村 4 他市町村 5 他都道府県	1 自宅 2 同市区町村 3 他市区町村 4 他市町村 5 他都道府県
14 従業地・通学地・利用交通手段	従業地・通学地が自宅以外の人について記入してください 徒歩だけの場合は 1をまるで囲んでください あてはまるものが二つ以上ある場合は 利用する距離がもっとも長いものを○ 他を○で囲んでください		1 徒歩 2 鉄道・電車 3 乗合バス 4 学校 5 自転車 6 オートバイ 7 タクシーその他	1 徒歩 2 鉄道・電車 3 乗合バス 4 学校 5 自転車 6 オートバイ 7 タクシーその他	1 徒歩 2 鉄道・電車 3 乗合バス 4 学校 5 自転車 6 オートバイ 7 タクシーその他	1 徒歩 2 鉄道・電車 3 乗合バス 4 学校 5 自転車 6 オートバイ 7 タクシーその他	1 徒歩 2 鉄道・電車 3 乗合バス 4 学校 5 自転車 6 オートバイ 7 タクシーその他	1 徒歩 2 鉄道・電車 3 乗合バス 4 学校 5 自転車 6 オートバイ 7 タクシーその他
15 従業地位	会社・団体・個人や官公庁に雇用されている人は………1 会社・団体・公社の重役・理事などの役員は………2 農業主・個人経営の事業主 { 雇人がいる人は………3 自由業の人などのうち 雇人がいない人は………4 自家営業(農業や店の仕事など)を手伝っている家族は………5 家庭で賃仕事をしている人は………6		1 雇用されている人 2 会社などの役員 3 雇人のない業主 4 雇人のない業主 5 家族従業者 6 家庭内職	1 雇用されている人 2 会社などの役員 3 雇人のない業主 4 雇人のない業主 5 家族従業者 6 家庭内職	1 雇用されている人 2 会社などの役員 3 雇人のない業主 4 雇人のない業主 5 家族従業者 6 家庭内職	1 雇用されている人 2 会社などの役員 3 雇人のない業主 4 雇人のない業主 5 家族従業者 6 家庭内職	1 雇用されている人 2 会社などの役員 3 雇人のない業主 4 雇人のない業主 5 家族従業者 6 家庭内職	1 雇用されている人 2 会社などの役員 3 雇人のない業主 4 雇人のない業主 5 家族従業者 6 家庭内職
16 勤め先・業主などの事業の種類	仕事をしている事務所・工場・店などの名称と そこで行なわれている事業の内容を書いてください よくに名称がない場合は 事業の内容だけ書いてください 事業の内容は おもな製品または商品の種類 製造か修理かの別 卸売か小売かの別がわかるように くわしく書いてください (記入例を見てください)		1 勤め先・業主などの名称 2 事業の種類	1 勤め先・業主などの名称 2 事業の種類	1 勤め先・業主などの名称 2 事業の種類	1 勤め先・業主などの名称 2 事業の種類	1 勤め先・業主などの名称 2 事業の種類	1 勤め先・業主などの名称 2 事業の種類
17 本人の仕事の種類	本人がしている仕事の内容がよくわかるように たとえば 電気溶接工・会計事務員 などと書いてください 単に 工具・会社員 などとは書かないでください (記入例を見てください)		1 電気溶接工 2 会計事務員	1 電気溶接工 2 会計事務員	1 電気溶接工 2 会計事務員	1 電気溶接工 2 会計事務員	1 電気溶接工 2 会計事務員	1 電気溶接工 2 会計事務員

調査区番号
第 号

(ア) 世帯番号
第 号

(イ) 世帯の種類
1 一般の世帯
2 1人世帯
3 学校の寄宿舎の寄宿生
4 金銭などの貸付の貸主
5 病院・療養所の入院者
6 社会施設の入所者
7 その他
(1)～(7)欄へ (5)～(7)欄へ

あなたの世帯について記入してください

(1) 住居の種類
1 持ち家
2 公団・公社
3 借家・民営の賃貸アパート
4 給与住宅(公務員住宅など)
5 住宅に間借り
6 寄宿舍その他

(2) 居住室数
玄関・炊事場・浴室などや 営業用の室 他の世帯が使っている室は除いてください
ダイニング キッチン は 居住室に含めます

(3) 居住室の畳数の合計
畳のしていない居住室も 畳数に換算して含めてください

(4) 家計の収入の種類
世帯の生計を維持するための収入の種類について記入してください
あてはまるものが二つ以上ある場合は おもなもの一つを○ 他を○で囲んでください

(5) 世帯人員
男 人 女 人 計 人
(調査票が2枚以上にあたる場合は それぞれに記入してください)

(6) 世帯の所在地(ところ番地)
電話(局)

(7) 世帯主の氏名(または代表者の氏名)

(ウ) 調査票の通し番号
この世帯の調査票
枚のうち 枚目
この調査区の調査票
枚のうち 枚目
調査員
枚印

昭和45年国勢調査 調査票

總理府統計局

		1	2	3	4	5					
	(100のケタ)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(7) 世帯番号	(10のケタ)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(各校に記入)	(1のケタ)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	1	2	3	4	5	6	7
(イ) 世帯の種類	一般の 世帯	1人 世帯	学校の 寄宿舎	会社の 单身寮	病院 療養所	社 会 施設	その他

	1	2	3	4	5	6
(1) 住居の種類	持ち家	公営・公社 の賃貸宅	借家	給付住宅	住宅に 関わり ない	寄居 その他

記入上の注意 かならず黒鉛筆で記入してください。

(2) 居住室数	1室	2	3	4	5	6	7	8	9	10室以上	
(3) 居住室の 量 数	10のケタ (以下)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	100 以上
(4) 家計の 収入の種類	1 家業 収入	2 賃金 収入	3 年金 収入	4 家賃 収入	5 利子 収入	6 恩給 収入	7 失業 保険	8 生活 保護	9 仕送り 収入	10 その他	
(5) 世帯人員	□ □		人		右のわくに 名にも 記入しないでください						
	□ □		人		A B						

調査票の 行番号		氏名			
2世帯主との 続きの柄	世帯主（本人） 代表者（夫）	扶養父母祖父母兄弟姉妹親族	兄弟姉妹 その他	営業使用人 家事使用人 その他	
3男女の別	男	女			
4出生年月	昭和以前 (10のケタ)	明治 (1のケタ)	大正 (1のケタ)	昭和 (10のケタ)	
	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1.2月	4.5月	7.8月 10.11月 12月	
5国籍	日本	韓国・朝鮮	中国	アメリカ その他	
6配偶の関係	未婚	有配偶	死別	離別	
7結婚年数	0年	1 2 3 4	5 9 10 14 19	20年以上	
8子供の数	0人	1 2 3 4	5 6 7 8	9 10人以上	
9現住居に 入居した時期	出生時 から	昭和34年 以前	35～39年	40年1月～44年9月 以後	
10前住地	同じ区市町村	他区	他市町村	他都道府県 外国	
11教 育	ア 在学中 イ 小学 小中 出 新語 製大 大学 高小 高小 高小 高小 高小 高小 高小 高小 思 の 能	卒業	本職学	その他	
12仕事をしたか どうかの別	おに 仕事	家事のかた は仕事	通学のかた は仕事	休んでいて いた	家事通学その 他の
13従業地また は通学先	ア 自宅 都道府県市区町 村	同じ区市町村	他区	他市町村 他都道府県	
14利用交通手段	徒歩 だけ	鉄道 電車	集合 バス	勤め先のバス 学校	自家自転車 用車 その他
15従業上の地位	雇用されて いる人	役員	雇われ主 屋主	家族 従業員	家庭内職
16などの 事業の種類	名称 内容				
17本人の 仕事の種類	名称 内容				

調査票の 行 番 号		氏 名									
2 世帯主との 続 き		世帯主 妻 子 孫 父母 祖父 兄弟 他の (代表者)(人) 姉妹 親族 営業者 家庭 使用人 使用人 その他									
3 男女の別		男					女				
4 出 生 の 年 月		明治以前 明治 大正 昭和 (10のケタ) 1 2 3 4 (1のケタ) 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 1,2,3月 4,5,6月 7,8,9月 10,11,12月									
5 国 籍		日本 韓国・朝鮮 中国 アメリカ その他									
6 配偶の関係		未婚 有配偶 死別 離別									
世帯主 以外 の 家族 の 人 数	7 結婚年数	0年 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20年以上									
	8 子供の数	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10人以上									
9 現 住 居 に 入居した時期		1 出生時 2 昭和34年 3 35～39年 4 40年1月 5 44年10月 から 以前 44年9月 以後									
10 前 住 地		1 同市区町村 2 他区 3 他市町村 4 他都道府県 5 外国									
11 教 育	ア	1 在学中 2 卒業 3 未就学									
	イ	1 小学 2 小中 3 新中 4 新高 5 短大 6 大学 7 大学院 8 専門学校 9 その他 高小 新中 育学 旧中 高専									
12 仕事をしたか どうかの別		1 専業主婦 2 専業主夫 3 通学しながら仕事 4 休んで家事 5 専事通学その他 仕事 家事 通学 仕事									
13 従業地または 通学地		1 自宅 2 同市区町村 3 他区 4 他市町村 5 他都道府県 ア									
都道府県 市 区 町 村	10のケタ	0 1 2 3 4									
	11のケタ	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9									
	12のケタ	0 1 2 3 4 5 6									
	13のケタ	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9									
	14のケタ	0 1 2 3 4 5 6									
14 利用交通手段		1 徒歩 2 鉄道 3 乗合 4 勤労 5 自家 6 だけ 電車 バス バス 学校 自転車 車 用 車									
15 従業上の地位		1 雇用され 2 役員 3 専任 4 兼任 5 家庭 6 ている人 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主									
16 名 称 などの 事業の種類											
17 本人の 仕 事 の 種 類											

統計局記入欄	農	林	漁	鉱	建	習	卸	小	金	不	運	電	其
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	公		
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	V		
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
職業	農	林	漁	鉱	建	習	卸	小	金	不	運	電	其
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	V		
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	V		
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			

統計局記入欄	農	林	漁	鉱	建	製	卸	小	金	不	運	電	サ
	○	1	2	3	4	5	6	7	8	9	公		
	○	1	2	3	4	5	6	7	8	9	V		
	○	1	2	3	4	5	6	7	8	9	V		
業職業	○	1	2	3	4	5	6	7	8	9	V		
	○	1	2	3	4	5	6	7	8	9	V		
	○	1	2	3	4	5	6	7	8	9	V		
	○	1	2	3	4	5	6	7	8	9	V		

統計局 記入欄					
------------	--	--	--	--	--

調査区	第	号	通番	し号	この調査区の例題のうち	枚目
-----	---	---	----	----	-------------	----